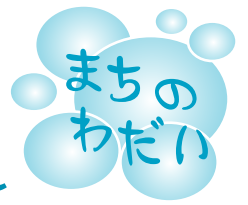


# ハイ、市長です

～ご意見箱を設置しました～



市民のみなさんの  
気付いたことを教えてください。  
助言、アイデア何でも結構です。

市では、皆様のご意見を聞き、開かれた市政づくりに取り組んでいきたいと考えています。市民の方々が市に対して、お気軽に意見を伝えられるよう、市長への手紙専用ポストを設置しました。

電話や郵便、電子メールでも受け付けております。

メールアドレス：[info@city.aso.kumamoto.jp](mailto:info@city.aso.kumamoto.jp)

住所：〒869 - 2695

阿蘇市一の宮町宮地504 - 1

阿蘇市役所「ハイ！市長です」宛

Tel：22 - 3111

#### 【設置場所】

- 阿蘇市役所及び内牧・波野各支所ロビー
- 市立一の宮図書館
- 市立阿蘇図書館

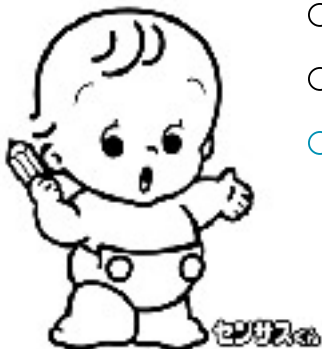
## 10月1日に国勢調査を実施します！

国勢調査の結果は、法定人口として地方交付税交付金の算定基準や、将来人口の推計など行政に不可欠な人口分析等、幅広く活用される、5年に1度の重要な統計調査です。

調査員が回収に向う日までに調査票は、黒鉛筆で正しく記入してください。ご協力をお願いします。



9月下旬に調査員が皆さんの自宅へ、調査票を持って伺います。



- 国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人が対象で、回答が義務づけられています。
- 国勢調査員をはじめとする調査関係者には、守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されます。
- 調査票がお手元に届かない時は、阿蘇市役所企画財政課 (Tel：22 - 3169) へご連絡下さい。





## ご長寿女性No.1

# 祝！敬老の日



佐藤 ツヤさん (古神3区)  
明治31年6月10日生まれ  
107歳

107歳。県内では13位

日露戦争より6年も前にお生まれになった佐藤ツヤさんはなんと107歳。現在、体力の低下により入院中ですが、体調は良好。毎日、お嫁さんが食事の介助に来て声をかけてくれるのが楽しみです。

長生きの理由を「若い頃から気の長い人でした」とお嫁さん。腹を立てたところを見たことがないそうです。

坂梨で生れたツヤさんは佐藤家(宮地)に嫁いで散髪屋を営み、107年間一の宮町で生活されています。現在、やしや孫が2人。

多年にわたり社会につくしてこられた  
お年寄りを敬愛し、ご長寿をお祝いしましょう

8月1日現在、阿蘇市には75歳以上の方が4,296人(市人口の約14%)いらっしゃいます。9月は、お年寄りをお祝いする敬老会が各地区で開催されます。ぜひ参加されて地域の方々と楽しいひとときを過ごしてください。いつまでもお元気で、これまでの豊富な人生経験を市政に、また次世代につないでいただきたいと思えます。

## ご長寿男性No.1

驚異！の健康体



郷 達治さん (荻の草)  
明治33年3月22日生まれ  
105歳

メガネなしで新聞を読み、杖なしで歩き、トイレも入浴も介助なし、見た目は80歳。郷さんはこんな元気な105歳のおじいちゃんです。取材に伺った時も、郵政民営化の話題で盛り上がり、衆議院選挙の投票にも必ず行くと意気揚々とされていました。

郷さんのお宅は30年にわたるリンドウの花弁栽培農家。出荷の手伝いも、つい最近までされていたそうです。「一の宮高齢者センターのお湯の質はどこより一番」と、週3回のデイサービスが最近の楽しみ。生まれてからずっと荻の草で生活。農業一筋。現在、孫は24人、ひ孫は40人。

## 伝統技術を伝授

～わらじ・おじゃめ作り～

南黒川文化保存会(平田清光会長 15人)と南黒川子ども会(15人)が、8月8日、南黒川公民館で「ものづくり教室」を開き、男の子は「わらじ」、女の子は「おじゃめ」作りに挑戦しました。「昔は、親から教わって自分たちで作っていたが、今は作れる人が少なくなった。今回は、夏休みの思い出づくりになればと、計画しました」と保存会のメンバー。子ども達は、わらのない方や小豆を入れた袋の縫い方を教わりながら、一生懸命作っていました。





## 故 若宮榮二氏に瑞寶雙光章

旧阿蘇町消防団長を平成5年から10年間務め、地域防災に貢献された故若宮榮二氏(上西黒川)に、瑞寶雙光章が贈られ、8月10日市役所で伝達式が行われました。

伝達式には、息子の龍也さんが出席。「31年余りを消防団員として地域防災に努めました。受章できて喜んでいると思います」と、また、佐藤市長も「表裏のない責任感の強い、一徹な方でした。」と58歳の若さで他界された若宮氏の思い出が語られました。



## 地域の防犯に貢献

防犯功労者表彰が、7月22日に一の宮保健センターで行われ、大村吉弘さん(乙姫)、島川辿さん(永草)、宮本計心さん(南黒川)に、阿蘇地区防犯協会長の佐藤市長から「日頃の地道な活動で、地域の防犯に貢献されたことに感謝します」と、感謝状が贈られました。

島川さん、大村さん、宮本さんは街頭監視、防犯チラシの作成配布、少年指導など、長年の活動が今回の受賞につながりました。

## 阿蘇市消防団初の 標的落とし大会



8月28日、内牧遊水池で消防団通常点検並びに標的落とし大会が開催され、24分団750人、中通少年消防クラブ15人が参加しました。

開会式で湯浅団長が「各分団の名誉のため、日頃の訓練の成果を発揮してください」と訓示。続いて永年消防に尽力した団員の表彰がありました。

競技は、スタート地点から100m先に設置した高さ20m(ポンプ車の部は24m)のかごから2個のボールをいかに早く落とすかを競うものです。

家族やOBの声援を受けながら、熱戦が繰り広げられました。

各部門の優勝結果は次のとおりです。

規律の部	第18分団	(永草・枳)
ポンプの部	第10分団第2班	(内牧4区・小里)
積載車の部	第20分団第2班	(狩尾2区)
可搬の部	第3分団第4班	(古閑・神石)



### ☆永年勤続表彰者☆

消防庁長官表彰(25年以上)

岩下純男(副団長)、成田一秋(副団長)  
市原英一(副団長)、岩下哲郎(元分団長)

日本消防協会表彰

古木哲郎(副団長)、古澤廣海(副団長)  
岩下純男(副団長)

熊本県知事表彰(25年)

井手孝義(第2分団長)、江良孝一(第8分団長)  
岩下道幸(第9分団長)、佐藤富士男(第3分団副団長)  
植木野高伸(第6分団部長)、古澤正己(第6分団員)  
藤木良平(元副分団長)

# 子ども自転車大会で大健闘



7月16日、熊本県運転免許センターで「第39回交通安全子ども自転車熊本県大会」が開催されました。

阿蘇地区からは、宮地小学校の児童(8名)が出場。午前中に交通規則や道路標識などの学科テスト、午後、安全走行と技能走行2コースの実技テストに挑みました。惜しくも入賞は逸しましたが、早朝の実技練習、昼休みの学科勉強に懸命に取り組んだ成果を発揮し、健闘しました。

【出場メンバー】

井上熙人(6年) 今村直輝(6年) 大塚猶貴(6年) 大塚猶登(6年)  
後藤玲奈(6年) 高橋美貴(6年) 藤川美穂(6年) 伊藤流石(5年)

## お母さんの気持ち…少しわかった

市では毎年、夏休み期間を利用して「中学生の育児体験」を行っています。

今年は、小さな子どもがいる阿蘇市子育て支援センターが体験の場。希望で参加した阿蘇中、阿蘇北中の4人の生徒は早速、自己紹介の後、子どもたちの身長・体重測定を手伝ったり、遊んだりして、「将来の夢」へつながる貴重な体験をしました。

おもいをお腹にかかえ妊婦体験をした生徒は「お母さんは大変な思いをして私を産んでくれた」と改めて親子の絆を感じた様子でした。



## 風力発電

10月完成予定

電気事業・工業用水・有料駐車場を経営する「熊本県企業局」は、新たな事業の一つとして、「風力発電」による九州電力(株)への電気供給を計画し、県内各地で風況調査を行ってきた結果、最も適した車帰地区に建設を決め、その「建設工事安全祈願祭」が8月9日、建設関係者や地元代表者が参加し行われました。

工事は10月の運転開始を目標に進められます。建設される風力発電機は3基で、高さ60m、羽の直径47m。予定される年間発生電力は3,477kWで、一般家庭1千世帯分の消費電力に相当します。阿蘇市初の建設となる風力発電は、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギー源として、阿蘇の観光の環境に、また地球温暖化防止の観点から期待されます。

ひのてるまさ  
～日野皓正氏が熱演～

## 阿蘇神社にトランペットの響き



8月3日の夜、阿蘇神社桜門の復旧支援を促す「阿蘇神社奉納コンサート」が実行委員会(大田黒卓三さん他)主催で開催されました。

今年で6回目の開催となった今回は、日本を代表するトランペット演奏者日野皓正氏を迎え行い、ライトアップされた桜門の美しさと音楽に500人が酔いしれました。



# みんなで盛り上がった！ 夏祭り

まちの  
わだい

合併して3町村は一つになりましたが、楽しみは3倍になりました。「波野納涼まつり」が8月15日に道の駅波野「神楽苑」で、8月16日には「2005一の宮夏祭り」が一の宮中学校グラウンドで、「第28回阿蘇火の山まつり」が阿蘇体育館前で8月19・20日に開催されました。



2,200人が参加した  
火の山総おどり



阿蘇山上で採火された火が、阿蘇中・阿蘇北中の皆さんの手で点火され、火の山まつりがスタート



トマトの早食い大会  
一の宮夏まつり



ママメのつがみ取り

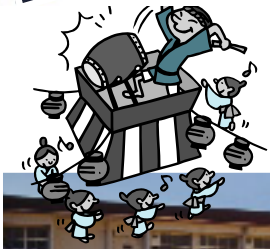
波野納涼まつり



波野小児童が  
子ども神楽を披露



一の宮夏まつり

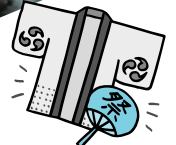


衣装もバッチリ！  
一の宮総おどり

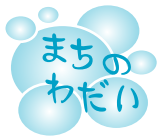


わっしょい！わっしょい！  
55墓の子どもたるみこしのパレード

火の山まつり







## これぞベテランの技 ～畑を花で色鮮やかに～

波野地区老人クラブ「元気友の会・花クラブ」の方々が「道の駅 波野」の前に広がる20アールの土地に花を植え込み、今、色とりどりの花々が道の駅に彩りを添えています。

皆さんは3年前に村の生き生き健康づくり事業に参加し、年間を通じてハウスで苗をつくり畑に移植するという作業されています。冬季以外は花を絶やさないとされています。8月の作業では、マリーゴールド1,600株、赤サルビア青サルビア2,000株を植栽されました。その手さばきはお見事！作業の速さ、正確さには驚かされました。

これから、秋に向けパンジー4,000ポット分の苗づくりに入ります。10月末から神楽苑でパンジーの苗を販売されますので、ご協力をお願いします。詳しくは老人会波野支部長 阿南重継さん、花クラブ会長 藤井信保さんまで。



## 内牧1区の公民館が完成しました



内牧1区の公民館が市道沿いの新町広場に完成し、7月30日、地区を挙げての落成式が行われました。

式では、市長はじめ来賓の祝辞の後、湯浅区長が建設構想から17年の年月を振り返りながら「長い間資金積み立てなどに理解・協力をしてくれた区民、建設に携わってくれた区の技術関係者に感謝する。今後、区民で公民館を盛んに利活用し、内牧1区は皆がいきいき元気になったといわれることを願う」とあいさつ。続いて若舟会による祝い太鼓が鳴り響き、式を盛り上げました。

公民館は敷地面積330m<sup>2</sup>で、木造平屋建てで総床面積227m<sup>2</sup>に大・小集会室、厨房、多目的トイレ等があります。

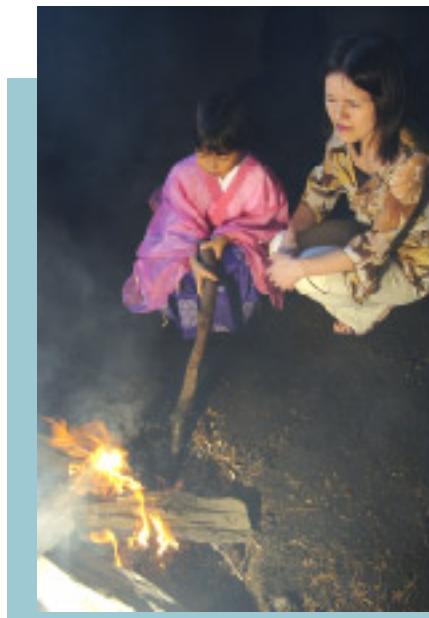
今回、善意で設計・現場管理をされた迫 修一さんによると、「小会議室が外から観劇できる舞台になること、女性の意見を基にした厨房が特徴」とのことです。

## 豊作を祈願して…

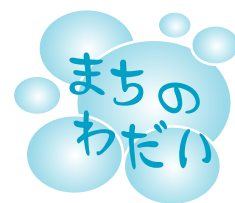
国指定重要無形民俗文化財に指定されている「霜宮の火焚き神事」が、8月19日始まりました。今年の火焚き乙女は、碧水小学校3年の竹原亜莉紗さん。介添役の母、尚美さんと一緒に10月16日の乙女上げの日まで、農作物を霜の害から守るため御神体を温めます。

この神事は、上役犬原、下役犬原、竹原の3地区の氏子が年番制で行い、火焚き乙女もこの地区から選ばれます。昔は、火焚き乙女になると良い縁談に恵まれるといわれ、参加者も多かったのですが、今は子どもが少なくなり大変難しくなっています。

このほか、台風被害を懸念し、旧暦の7月4日には風宮(宮地)で阿蘇谷の悪い風をこの風宮から手野の風宮に封じ込む神事が行われました。



◀ 今年の年番は竹原地区。火焚殿で10月16日まで、役犬原にある霜宮の氏子が交替で火を守る



一の宮町出身の阿蘇品照美選手(23歳、京セラ所属)が、3月に山口県で開催された全国実業団ハーフマラソンで優勝し、10月1日カナダのエドモントで開催される第14回世界ハーフマラソン選手権大会への出場が決定しました。

この榮譽を祝い一の宮中学校陸上部OB後援会(代表 岩永安隆さん)は8月19日祝賀会を開催。集まった恩師など80人を前に阿蘇品選手は「地元の方の皆さんの応援をうけ大会に挑めることを幸せに思います。日本代表として好成績を残したい」と抱負を述べ、京セラの大森監督も「この大会は半年後マラソンへ転向する通過点。天性の走るセンスを持つ阿蘇品選手の良さを最大限引き出せるようがんばりたい」と意欲を語りました。

阿蘇品選手は第15回全国都道府県女子駅伝で熊本県が優勝した時のメンバー(当時一の宮中学)で、その時、区間賞も獲得。以後7回出場。1万メートルなどトラックレースにおいても数々の入賞を果たす。来年3月の名古屋国際女子マラソンに出場予定。



▲いこいの村で行われた祝賀会で。左から佐藤市長、阿蘇品選手、京セラ大森監督、元一の宮中学校陸上部久保監督。

## 九州大会に出場します！

県内で最も大きな大会である「第11回熊本県テコンドー選手権大会」が、8月7日大津町で開催され、阿蘇市の選手が大健闘し、うち7名が9月19日沖縄県で開催される九州大会への出場を決めました。皆様の応援よろしくお願ひします。



▲県内一のレベルを誇る阿蘇道場の練習の様子。週2回内牧や宮地の体育館で行われています。

- 上位入賞者 【組手】 ※☆印は、九州大会出場者
- 小学3・4年男子の部 2位 西村 純 (宮地小4年)☆
  - 小学5・6年男子軽量級の部 優勝 津田 輝史朗 (宮地小6年)☆ (最優秀選手賞受賞)
  - 小学1・2年女子の部 優勝 西村 真利愛 (宮地小2年)
  - 2位 松本 麗奈 (尾ヶ石東部小2年)
  - 小学3・4年女子 優勝 山本 くるみ (宮地小4年)☆
  - 重量級の部 2位 本田 琴子 (内牧小3年)
  - 小学5・6年女子の部 優勝 本田 涼夏 (内牧小5年)☆
  - 中学女子の部 優勝 古閑 聖佳 (一の宮中3年)☆
  - 2位 本田 千尋 (阿蘇北中1年)
  - 一般女子の部 優勝 津田 ひかる (阿蘇中2年)☆
  - 2位 井手 沙耶花 (分2区)☆

## 空手九州大会 頑張りました！

第25回九州ブロックスポーツ少年団空手道交流大会が、8月14日県立総合体育館で開催され、小学生男子団体組手で阿蘇空手クラブ(宮崎真太郎くん・碧水小6年、藤川有巳くん・碧水小6年、橋本康平くん・内牧小6年)が優勝、小学生男子個人組手5年生の部で江藤夢記くん(碧水小)が、中学生男子個人組手1年生の部で村上裕樹くん(阿蘇北中)が2位に入賞しました。



◀前列右から、江藤くん、藤川くん、村上くん、宮崎くん



もようなら

# SLあそBOY そして ありがとう

～2005 夏、JR阿蘇駅・宮地駅はかつてない人出となった～



最終運行 8月28日、15時21分。あそBOYが大きな汽笛を上げ宮地駅を離れました。「さよなら」「あそBOYありがとう」と、駅に訪れた1千5百人から盛んに声が発せられ、皆いつまでも手を振り続けました。

これにより、SLあそBOYの熊本駅⇄宮地駅間の18年の運行は完全に幕を閉じました。

今年6月末、JRがSLあそBOYの運行終了を発表してから、たくさんの方が別れを惜しみ阿蘇を訪れ、人気のほどが伺えました。

また、地元でもこれまでの貢献に感謝を込めたイベントを28日開催、阿蘇高校ブラスバンド演奏や花束贈呈、一日駅長となった佐藤市長による投炭式などで盛り上げ、最終日を飾りました。

なお、JRによると、今後このSLの利活用についてはまだ未定ですが、阿蘇の観光に大いに活躍した「あそBOY」に心から感謝し、あの雄姿をいつまでも皆さんの胸に…。



## 各スポーツ大会盛んに開催

～野球やバスケット等に延べ2千人が宿泊～



この夏も各協会主催のスポーツ大会がいくつも開催され、地元観光業に経済効果をまた、商店街に活気をもたらしました。

第20回阿蘇火の山旗高校女子バスケットボール練成大会が阿蘇体育館で開催、8月9日から3日間九州の有力チーム20校が熱戦を展開。地元の中学・高校のバスケット部員、市バスケット協会がボランティアスタッフとして協力し、20回の記念大会を成功させました。

また、8月20・21・27日は、九州各県から64チームが参加した野球大会が、一の宮総合公園グラウンドで開催。多数の実力チームの中、地元「一の宮マリーンズ」が堂々の準優勝を決めました。

第2回火の国・阿蘇クロスカントリー大会(熊本陸協・阿蘇市主催)が8月28日、北外輪山にある阿蘇観光牧場(山田)のコースで開催。今回は、阿蘇市誕生記念大会として盛大に行われました。

本大会は、来年4月福岡で開催の「世界クロスカントリー選手権」の強化選手の育成、国内1とも評価されるこのコースの利活用を目的に昨年からはまったもので、本大会を大いに盛り上げようと、日本陸連理事の瀬古利彦氏(SB食品陸上部監督)からも東京からかけつけました。

競技には、県内の小・中・高校生約600人、実業団など一般選手約110人が参加。多くの声援を受け、日頃の成果を発揮しました。阿蘇市からは、小学男子6年の部で園田晃大君(碧水小)が5位に入賞しました。

～国内トップレベルのコース～

## 阿蘇クロスカントリーで選手ら競う



◀入賞を喜ぶ園田くん